

五卷本『庸言知旨』校注(16)

竹越 孝

(承前)

- 16 juwan ninguci fiyelen.  
第十 六 章  
第十六章<sup>1</sup>(四/十六 1a1)
- 16-1-1 ere ilha kila sembi.  
この花野薔薇という  
這個花叫作野薔薇(四/十六 1a2)
- 16-1-2 erei abdaha. bula.  
これの葉棘  
這個的葉兒刺(四/十六 1a2)
- 16-1-3 gemu bula ilha de adali bicibe.  
みな薔薇に似ているけれども  
雖都像黃白薔薇(四/十六 1a2)
- 16-1-4 ere<sup>2</sup> ilha emursu fiyentehe.  
この花單層の花卉  
這花是單瓣兒(四/十六 1a3)
- 16-1-5 umai tuttu fiyentehe jibsime banjirakū.  
決してその様に花卉重層で生まれない  
並沒有<sup>3</sup>那們<sup>4</sup>千層兒的(四/十六 1a3)
- 16-1-6 fulgiyan bocongge.  
赤い色のもの  
至於紅的(四/十六 1a3-4)
- 16-1-7 jamu ilha de ele lakcafi isirakū oho.  
薔薇の花に益々遠く及ばなくなった

---

<sup>1</sup> 第十六章：刊本では第十二章(juwan juweci fiyelen)にあたる。辛卯本はこの漢訳を欠く。

<sup>2</sup> ere：刊本・辛卯本はこの一語を欠く。

<sup>3</sup> 有：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>4</sup> 們：刊本はこの一字を欠く。

- 越發不及玫瑰花<sup>5</sup>遠了（四/十六 1a4）
- 16-1-8 tere jamu ilha jofoho jibsime. fiyentehe dabkūrilame banjimbi.  
その 薔薇の 花 合わせ目 重層で 花卉 重なって 生まれる  
那個<sup>6</sup>玫瑰花<sup>7</sup>包着嘴兒<sup>8</sup>重着瓣兒長着（四/十六 1a4-5）
- 16-1-9 fushufi jaksaka manggi. nemeyen boco gebkeljembī.  
開いて 赤みが差した 後 柔らかい 色 鮮やかになる  
及至放開了血点兒紅嬌滴<sup>9</sup>的鮮艷（四/十六 1a5-1b1）
- 16-1-10 udu gubsu bilafi. ilhai dobokū de sisimbi.  
何 輪か 折って 花 瓶 に 挿す  
擷幾朶插在瓶裡（四/十六 1b1）
- 16-1-11 booi dolo sindaha de.  
家の中に 置いた ら  
放在屋裡（四/十六 1b1-2）
- 16-1-12 tere fulahūri saikan be aisembi.  
その 真紅で 美しいの を 何という  
那個<sup>9</sup>紅朴と<sup>10</sup>的好看不消說了（四/十六 1b2）
- 16-1-13 cib sere erinde.  
静かな 時に  
到了靜的時候（四/十六 1b2-3）
- 16-1-14 wangga wa. aimaka surseri i gese guksen guksen i sur seme oforo de  
芳 香 まるで 仏手の 様 一陣 一陣とふんと 鼻 に  
bahabumbi..  
得させる  
香味好像佛手似的一陣と<sup>11</sup>的噴鼻<sup>12</sup>子（四/十六 1b3-4）
- 16-2-1 si absi amtangga bai.  
君 何と 物好き だな

<sup>5</sup> 花：刊本はこの後に「兒」を有する。

<sup>6</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>7</sup> 花：刊本はこの後に「兒」を有する。

<sup>8</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>9</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>10</sup> 朴と：刊本は「朴朴兒」に作る。

<sup>11</sup> 一陣と：辛卯本は「一陣一陣」に作る。

<sup>12</sup> 鼻：刊本は「鼻」に作る。

- 你也好戲兒了<sup>13</sup>啊 (四/十六 1b5)  
 16-2-2 ai tuttu cihangga.  
 なぜ その様に 好む  
 忒奈煩了 (四/十六 1b5)  
 16-2-3 erei notho be kemuni anjimbio.  
 これの 樹皮 を まだ 削るか  
 這個皮還鏟呢麼 (四/十六 1b5)  
 16-2-4 tetun araki seci.  
 家具 作ろう と思えば  
 要做傢伙 (四/十六 2a1)  
 16-2-5 urunakū fufufi tuibalambi.  
 必ず 鋸で引き 鉋をかける  
 必得鋸開推鉋 (四/十六 2a1)  
 16-2-6 tuwacina.  
 見るがよい  
 瞧哦<sup>14</sup> (四/十六 2a1)  
 16-2-7 ere moo de mušuhu fuksuhu canggi.  
 この 木に 瘤 窪み ばかり  
 這個木頭<sup>15</sup>純是癩子 (四/十六 2a1-2)  
 16-2-8 colici foloci ojarahū teile akū.  
 彫り 刻むこと できない だけ でなく  
 不但雕刻不得 (四/十六 2a2)  
 16-2-9 fufure de gemu mangga kai.  
 鋸で引くの にも 難しい ぞ  
 連鋸都難呀 (四/十六 2a2-3)  
 16-2-10 mini gūnin i songkoi oci.  
 私の 考え による ならば  
 依我的主意 (四/十六 2a3)  
 16-2-11 ainame hūwala hūwala kiyarifi.  
 いずれにせよ ばき ばき 割って  
 不拘怎麼劈把劈把 (四/十六 2a3)

<sup>13</sup> 了：刊本はこの一語を欠く。

<sup>14</sup> 哦：刊本は「啊」に作る。

<sup>15</sup> 頭：辛卯本はこの後に「上」を有する。

- 16-2-12 jun de maktaci. inu okini..  
 竈にくべればまたそれでよい  
 撩到竈<sup>16</sup>火裡也罷咧（四/十六 2a4）
- 16-3-1 moo de hacingga banin bi.  
 木に各種の性質ある  
 樹有各種（四/十六 2a5）
- 16-3-2 tebici ubai jakdan moo.  
 例えばここの松の木  
 譬如這里<sup>17</sup>的松樹（四/十六 2a5）
- 16-3-3 urui alin i boso ergide banjimbi.  
 専ら山の北側に生える  
 必是在山背陰里<sup>18</sup>長（四/十六 2a5-2b1）
- 16-3-4 antu ergide emu da inu banjirakū.  
 南側に一株も生えない  
 山陽面一顆也沒有（四/十六 2b1）
- 16-3-5 tuttu bime. mailasun fuhali akū.  
 そうであって柏樹全くない  
 而且直没栢樹（四/十六 2b1-2）
- 16-3-6 uthai jakdan inu adali akū.  
 即ち松も同じでない  
 就是松樹也不得一様（四/十六 2b2）
- 16-3-7 si tuwa. alin i dorgi tere niowanggiyakan<sup>19</sup> ningge.  
 君見よ山の中にあの薄緑のもの  
 你看山裡<sup>20</sup>那個綠英と兒<sup>21</sup>的（四/十六 2b2-3）
- 16-3-8 saksin sembi.  
 杆松という  
 是杆<sup>22</sup>松（四/十六 2b3）

<sup>16</sup> 竈：刊本は「皂」に作る。

<sup>17</sup> 里：刊本・辛卯本は「裡」に作る。

<sup>18</sup> 里：辛卯本は「裡」に作る。

<sup>19</sup> niowanggiyakan：刊本は niowanggiyan に作る。

<sup>20</sup> 裡：刊本は「里」に作る。

<sup>21</sup> 兒：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>22</sup> 杆：刊本は「秆」に作る。

- 16-3-9 sata muwa foholon.  
針葉 粗く 短い  
那松針粗而短 (四/十六 2b3)
- 16-3-10 jurgan jurgan i banjimbi.  
一本 一本 と 生える  
一縷一縷兒<sup>23</sup>的長 (四/十六 2b3-4)
- 16-3-11 tuweri seme sata inu siharakū..  
冬 でも 針葉 また 落ちない  
到冬天松針<sup>24</sup>也不落 (四/十六 2b4)
- 16-4-1 tere sohon ningge be.  
その 黄色の もの を  
那個黃的 (四/十六 2b5)
- 16-4-2 si fulha fodoho sembio.  
君 楊 柳 と思うか  
你只當是楊柳樹麼 (四/十六 2b5)
- 16-4-3 inu jakdan kai.  
また 松 だぞ  
也是松啊 (四/十六 2b5)
- 16-4-4 ere emu hacin be isi sembi.  
この 一 種 を 落葉松 という  
這一種叫作落葉松 (四/十六 2b5-3a1)
- 16-4-5 sata halfiyan.  
針葉 扁平だ  
針匾 (四/十六 3a1)
- 16-4-6 tuweri sorombi. sihambi.  
冬 黄色くなる 落ちる  
冬天黃落葉兒<sup>25</sup> (四/十六 3a1)
- 16-4-7 niyaman fulahūkan fili.  
芯 薄赤色で 硬い  
心子發紅磁實 (四/十六 3a1-2)

<sup>23</sup> 一縷一縷兒：辛卯本は「一縷子一縷子」に作る。刊本は「兒」を欠く。

<sup>24</sup> 針：辛卯本は「枝」に作る。刊本はこの後に「兒」を有する。

<sup>25</sup> 落葉兒：刊本・辛卯本は「呢落呢」に作る。

- 16-4-8 banjitai niyarakū.  
本来 腐らない  
生来的不朽（四/十六 3a2）
- 16-4-9 nikasa erebe fulgiyan jakdan sembi..  
漢人達 これを 赤 松 という  
漢人把這<sup>26</sup>個叫作紅松（四/十六 3a2）
- 16-5-1 meni uce ijurabuhai šosin i dube mufuyen ofi.  
我々の 門 擦られて 回轉軸 の 先 丸く なったので  
我們的門轉身兒<sup>27</sup>磨<sup>28</sup>易了（四/十六 3a3）
- 16-5-2 kemuni gunirembime.  
いつも 解けたまま  
不住的走扇（四/十六 3a3）
- 16-5-3 daibihan i hadai hedei gemu sula oho.  
門枠 の ほぞ 穴 みな 緩く なった  
而且邊框的<sup>29</sup>榫印子都鬆了（四/十六 3a3-4）
- 16-5-4 undehen delereke turgunde.  
木板 外れた ために  
板子拔了縫了（四/十六 3a4）
- 16-5-5 tere halangga moo i faksi de bargiyatame dasatakini. sibiya hadame  
あの 姓の 木の 匠に 収めて 修理すればよい 止め木 付けて  
weilekini seme benehe.  
造ればよい と 送った  
給那姓某<sup>30</sup>的木匠送去叫他歸籠收拾夾と楔子呢（四/十六 3a4-5）
- 16-5-6 ubiyada.  
憎い奴  
可惡（四/十六 3a5）
- 16-5-7 te sunja ninggun inenggi otolo.  
今 五 六 日 になるまで  
如今五六天了（四/十六 3b1）

<sup>26</sup> 這：刊本は「様」に作る。

<sup>27</sup> 兒：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>28</sup> 磨：刊本は「磨」に作る。

<sup>29</sup> 的：刊本はこの一字を欠く。

<sup>30</sup> 姓某：辛卯本は「某姓」に作る。

- 16-5-8 kemuni bahara unde..  
 まだ 得て いない  
 還未<sup>31</sup>得呢 (四/十六 3b1)
- 16-6-1 ere enderi senderi durun be ume tuwara.  
 この ぼろ ぼろの 様子 を 決して 見るな  
 別看這個殘缺不齊的樣子 (四/十六 3b2)
- 16-6-2 daci oihori bokšokon giogiyān i emu icangga tetun bihe.  
 元々 何とも 精緻 精工 な 一つの 美しい 器 だった  
 從前狼是個秀縷精緻順眼的器皿來着 (四/十六 3b2-3)
- 16-6-3 mini beyei boode akū sidende.  
 私 自身の 家 に ない 間に  
 我没在家的當兒上 (四/十六 3b3)
- 16-6-4 ce adarame waliyame maktaha de.  
 彼ら どの様に 抛って 落としたら  
 他們怎麼的<sup>32</sup>撻搭着來<sup>33</sup> (四/十六 3b3-4)
- 16-6-5 uthai jakjahūn i fakcame gakarafi. ere ten de isibuhabi.  
 即ち 割れ目 が 裂けて 開き この 極み に 至らせている  
 就弄到裂開<sup>34</sup>散的到了這個田地了呢<sup>35</sup> (四/十六 3b4-5)
- 16-6-6 age hendu.  
 兄貴 言え  
 阿哥說 (四/十六 3b5)
- 16-6-7 hairakan wakao.  
 惜しく ないか  
 不可惜麼 (四/十六 3b5)
- 16-6-8 si te mimbe aina sembi..  
 君 今 私に どうしろ という  
 你可叫<sup>36</sup>我怎麼樣呢 (四/十六 3b5)

---

<sup>31</sup> 未：刊本は「没」に作る。

<sup>32</sup> 麼的：刊本は「樣的」に作る。辛卯本は「的」を欠く。

<sup>33</sup> 着來：辛卯本は「了」に作る。刊本は「來」を欠く。

<sup>34</sup> 裂開：刊本はこの二字を欠く。

<sup>35</sup> 呢：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>36</sup> 叫：辛卯本は「教」に作る。

- 16-7-1 waka oci ai.  
 違うなら 何だ  
 可不是麼（四/十六 4a1）
- 16-7-2 cananggi bi udu fali mukei feise gidame araki seme.  
 先日 私 何 個か 土 煉瓦 押して 作ろう と  
 前日我要托幾個土坯<sup>37</sup>（四/十六 4a1）
- 16-7-3 emu mukei feisei durun weilebuhede.  
 一つ 土 煉瓦の 型 作らせたなら  
 叫做<sup>38</sup>一個土坯<sup>39</sup>模子（四/十六 4a1-2）
- 16-7-4 tede taltan tatara tuibalara be gemu baiburakū.  
 そこで 溝 引いて 匏をかけるのを みな 要らない  
 那上<sup>40</sup>頭又不用起線推匏（四/十六 4a2-3）
- 16-7-5 giyanakū ai narhūn jaka sembi.  
 どれほど 何か 細かい 物か と言う  
 可算個甚<sup>41</sup>麼細發東西（四/十六 4a3）
- 16-7-6 i alime gaisu manggi.  
 彼 受け 入れた 後  
 他應承了去（四/十六 4a3）
- 16-7-7 juwan inenggi funcetele umai benjihekū.  
 十 日 余るまで 全く 送っていない  
 十来天並沒有送来（四/十六 4a3-4）
- 16-7-8 ede bi šorgime tuwanaci.  
 そこで 私 催促しに 見に行くと  
 因此我催と去看<sup>42</sup>（四/十六 4a4）
- 16-7-9 ara.  
 おや  
 好（四/十六 4a4）

<sup>37</sup> 土坯：刊本・辛卯本は「湖壑」に作る。

<sup>38</sup> 做：辛卯本は「作」に作る。

<sup>39</sup> 土坯：刊本・辛卯本は「湖壑」に作る。

<sup>40</sup> 上：刊本・辛卯本は「高」に作る。

<sup>41</sup> 甚：刊本・辛卯本は「什」に作る。

<sup>42</sup> 去看：刊本・辛卯本は「他去」に作る。



- 16-7-10 i fuhali gala<sup>43</sup> aššaha ba akū.  
 彼 全く 手 動かした 所 ない  
 他竟没有<sup>44</sup>動手 (四/十六 4a4-5)
- 16-7-11 šuwe hū i da i ergide maktahabi..  
 直に 後 頭 部 の 方 に 置 いて いた  
 直撩<sup>45</sup>在惱杓子後頭<sup>46</sup> (四/十六 4a5)
- 16-8-1 loli fodoho tebuki seci.  
 枝垂れ 柳 植えたい ならば  
 要種垂楊 (四/十六 4b1)
- 16-8-2 neneme golmin foholon i mutun be bodome toktofi.  
 まず 長 短 の 寸法 を 考 えて 決 め  
 先打算定了長短<sup>47</sup>尺寸 (四/十六 4b1)
- 16-8-3 emu urgen weilefi.  
 一つ 基準 作り  
 做一个製子 (四/十六 4b2)
- 16-8-4 acabume fodoho darhūwan i bišun šunggayan be tuwame sonjome.  
 合わせて 柳 竿 の つ り り と 長 い の を 見 て 選 び  
 sacibufi gajiha manggi.  
 切らせて 持って来た 後  
 比<sup>48</sup>照着揀那柳杆子光華直絡的砍了拿来 (四/十六 4b2-3)
- 16-8-5 jurgan jurgan i neigen seriken tebu.  
 一筋 一筋 と 均等に 離して 植えよ  
 按着行<sup>49</sup>兒匀匀<sup>50</sup>散との裁<sup>51</sup> (四/十六 4b3-4)
- 16-8-6 ume gerben garban ainame garbahūn i cokime sisire.  
 決して ばら ばら いい加減に まばら に 突き 挿すな

<sup>43</sup> gala : 辛卯本は hala に作る。

<sup>44</sup> 有 : 刊本はこの一字を欠く。

<sup>45</sup> 撩 : 刊本・辛卯本は「丟」に作る。

<sup>46</sup> 頭 : 刊本・辛卯本はこの後に「了」を有する。

<sup>47</sup> 短 : 辛卯本はこの後に「的」を有する。

<sup>48</sup> 比 : 刊本はこの一字を欠く。

<sup>49</sup> 行 : 刊本はこの後に「行」を有する。

<sup>50</sup> 匀 : 刊本・辛卯本はこの後に「的」を有する。

<sup>51</sup> 裁 : 刊本は「裁」に作る。

- 別東一顆西一顆隨便兒稀不拉的挿搭着（四/十六 4b4）
- 16-8-7 *ereci mutufi lasarinaha de.*  
 これから 成長し 垂れ下がった ら  
 從此長到一蓬傘兒<sup>52</sup>的時候（四/十六 4b4-5）
- 16-8-8 *tuwara de šalar seme teksin bime.*  
 見ると たつぷりと 揃っていて  
 瞧着一帶壁齊（四/十六 4b5）
- 16-8-9 *sebderi inu fisin..*  
 木蔭 も 密だ  
 而且陰涼兒也濃（四/十六 4b5）
- 16-9-1 *ere yuwan.*  
 この 硯  
 這個<sup>53</sup>硯台（四/十六 5a1）
- 16-9-2 *ya ba i wehe ojoro be.*  
 どの 所 の 石 であるか を  
 是那里<sup>54</sup>的石頭（四/十六 5a1）
- 16-9-3 *bi ilgame muterakū bicibe.*  
 私 見分けること できない けれども  
 我雖不能辯<sup>55</sup>別（四/十六 5a1）
- 16-9-4 *behe suire de behe lature ja.*  
 墨 磨ると 墨 こびり付き 易い  
 研墨却頗下墨（四/十六 5a1-2）
- 16-9-5 *majige anggai sukdu dambuha manggi.*  
 少し 口の 息 加えた 後  
 些須哈上点兒氣<sup>56</sup>（四/十六 5a2）
- 16-9-6 *emu dobori giyalaha seme.*  
 一 晩 隔てた としても  
 隔一夜（四/十六 5a2-3）

---

<sup>52</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>53</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>54</sup> 里：刊本は「裡」に作る。

<sup>55</sup> 辯：刊本・辛卯本は「辨」に作る。

<sup>56</sup> 兒氣：刊本は「氣兒」に作る。辛卯本は「兒」を欠く。

- 16-9-7 tede daha sukdun i baran hono akiyarakū..  
 そこで吹いた息の跡 まだ 乾かない  
 那上<sup>57</sup>頭着了氣的那一塊<sup>58</sup>還不滲 (四/十六 5a3)
- 16-10-1 ere fusihen hiyotoroko.  
 この 水牌 反り返った  
 這個水牌翫了 (四/十六 5a4)
- 16-10-2 jakan kumcuhun ergi be fusihūn sindaha kai.  
 さっき 曲がった 方 を 下に 置いた ぞ  
 將纔把鼓肚兒朝下放<sup>59</sup>了 (四/十六 5a4)
- 16-10-3 esi kelfišeci.  
 勿論 揺れれば  
 自然滉游啊<sup>60</sup> (四/十六 5a4-5)
- 16-10-4 te ubaliyafi ungeschūn ergi be unskeme sindafi.  
 今 翻して 曲がった 方 を 伏せて 置き  
 這會兒<sup>61</sup>翻過來把空面兒<sup>62</sup>朝<sup>63</sup>下扣着 (四/十六 5a5)
- 16-10-5 cendeme tuwa.  
 試して 見よ  
 試と看 (四/十六 5a5)
- 16-10-6 ini cisui uthai aššarakū toktombi..  
 自 然と すぐ 動かず 固定する  
 自然不動就穩了啊<sup>64</sup> (四/十六 5b1)
- 16-11-1 ere oforo dambagu i<sup>65</sup> tebuku.  
 この 鼻 煙草 の 壺  
 這個鼻烟壺<sup>66</sup> (四/十六 5b2)

<sup>57</sup> 上：刊本・辛卯本は「高」に作る。

<sup>58</sup> 塊：辛卯本はこの後に「兒」を有する。

<sup>59</sup> 了：刊本は「着」に作る。辛卯本はこの後に「啊」を有する。

<sup>60</sup> 啊：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>61</sup> 兒：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>62</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>63</sup> 朝：刊本・辛卯本は「冲」に作る。

<sup>64</sup> 了啊：刊本は「咧」に作る。辛卯本は「呢」に作る。

<sup>65</sup> i：辛卯本はこの一語を欠く。

<sup>66</sup> 壺：刊本はこの後に「兒」を有する。

- 16-11-2 ilha ai weilehengge. umesi faksi.  
花 どう 作ったもの とても 巧み  
傲的花兒什麼的狠巧 (四/十六 5b2)
- 16-11-3 unggala kūwacarahangge. amba bime bolgo.  
穴 くり抜いたこと 大きく また 綺麗だ  
滔的堂大而且乾淨 (四/十六 5b2-3)
- 16-11-4 angga tondo.  
口 真っ直ぐ  
口兒端 (四/十六 5b3)
- 16-11-5 ferei weren tob.  
底の 環 正確  
足兒正 (四/十六 5b3)
- 16-11-6 hairan yongkiyabuhakūngge.  
惜しい 完全でなかったこと  
可惜不全可的<sup>67</sup> (四/十六 5b3-4)
- 16-11-7 marimbu wehe ningge.  
瑪瑙 石 のもの  
是個瑪瑙的 (四/十六 5b4)
- 16-11-8 majige dambagu olhobumbi.  
少し 煙草 乾かす  
有些<sup>68</sup>乾烟 (四/十六 5b4)
- 16-11-9 enteke icangga durun.  
この様な 美しい 様子  
拿着這等<sup>69</sup>好樣兒 (四/十六 5b4-5)
- 16-11-10 enteke mergen gala de.  
この様な 精工な 手 で  
這樣<sup>70</sup>精手工 (四/十六 5b5)
- 16-11-11 jakan emu cusile ningge bihe bici.  
さっき 一つ 水晶 のもの だった ならば  
剛纔要是一<sup>71</sup>個水晶的 (四/十六 5b5)

<sup>67</sup> 可的：刊本は「可」を欠く。辛卯本は「的」を欠く。

<sup>68</sup> 些：刊本はこの後に「個」を有する。

<sup>69</sup> 等：刊本は「個」に作る。

<sup>70</sup> 様：刊本は「個」に作る。

- 16-11-12 yargiyan i emu sain ba<sup>72</sup> yongkiyaha tetun ombihe..  
 確實 に 一つ 良い 所 完備した 器 になっていた  
 實在<sup>73</sup>可就是一<sup>74</sup>個全美的器皿咧<sup>75</sup> (四/十六 5b5-6a1)
- 16-12-1 ere notho kobciha gilajan.  
 この 樹皮 剥げた 裸木  
 這個脱了皮的光桿兒<sup>76</sup> (四/十六 6a2)
- 16-12-2 suriha tuhan.  
 枯れた 倒木  
 回乾的倒<sup>77</sup>挺 (四/十六 6a2)
- 16-12-3 udu baitangga jaka banjinarakū.  
 いかに 有用な 物 にならず  
 雖不成材料 (四/十六 6a2)
- 16-12-4 asuru simen akū bicibe.  
 大して 水分 ない としても  
 没什麼油性 (四/十六 6a3)
- 16-12-5 olhoho niyaman de isitala akiyahabi.  
 乾燥 中心 に 至るまで 通っている  
 可是已經晒乾透了的<sup>78</sup> (四/十六 6a3)
- 16-12-6 erei dube de fuhen majige sindafi fulgiyeci.  
 これの 先に 火口草 少し 置いて 吹けば  
 在這一頭兒着点穰草一吹 (四/十六 6a3-4)
- 16-12-7 hūr seme uthai dambi.  
 ぱっ と すぐ 燃える  
 忽的就着 (四/十六 6a4)
- 16-12-8 erebe ubade waliyame bisire anggala.  
 これを ここで 捨てて いる よりは

---

<sup>71</sup> 一：刊本はこの一字を欠く。

<sup>72</sup> ba：刊本・辛卯本は be に作る。

<sup>73</sup> 在：刊本は「然」に作る。

<sup>74</sup> 一：刊本はこの一字を欠く。

<sup>75</sup> 咧：刊本は「了啊」に作る。

<sup>76</sup> 兒：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>77</sup> 倒：刊本・辛卯本は「到」に作る。

<sup>78</sup> 的：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

把這個與其在這塊兒<sup>79</sup>撩<sup>80</sup>着（四/十六 6a4-5）

16-12-9 boode ušame gamafi.

家に 牽いて 持って行き  
拉在家裡去（四/十六 6a5）

16-12-10 giyarifi dejjiku obume.

割って 薪 にして  
劈成劈柴（四/十六 6a5）

16-12-11 norame sindaci.

積んで 置けば  
垛起来（四/十六 6a5）

16-12-12 ini cisui ibtenefi niyabure ci ai dalji..

自然と 朽ちて 腐る より ました  
不強似由他糟爛嗎（四/十六 6b1）

16-13-1 huwesi tūki seci.

小刀 打ちたい ならば  
要打小刀子（四/十六 6b2）

16-13-2 sain sele sonjofi.

良い 鉄 選び  
挑了好鉄（四/十六 6b2）

16-13-3 g'an<sup>81</sup> hafirafi.

鋼鉄 挟んで  
夾了鋼（四/十六 6b2）

16-13-4 tuwa de šerembufi.

火 で 赤く焼き  
火裡燒的紅の的（四/十六 6b2）

16-13-5 dabtafi geli dabta.

伸ばし また 伸ばすや  
折了又折（四/十六 6b3）

16-13-6 ubašame forihai.

翻して 叩いたまま  
反覆着鎚打的（四/十六 6b3）

---

<sup>79</sup> 塊兒：刊本は「里」に作る。

<sup>80</sup> 撩：刊本・辛卯本は「丟」に作る。

<sup>81</sup> g'an：刊本は gen に作る。

- 16-13-7 heni giyalu giyapi akū ten de isibuha manggi.  
 少しも ひび ささくれない 極みに 至らせた 後  
 一点兒<sup>82</sup>重皮夾皮都没了<sup>83</sup> (四/十六 6b3-4)
- 16-13-8 jai durun tucibume tū.  
 また 形 出して 打て  
 再打成刀子様兒 (四/十六 6b4)
- 16-13-9 kuhen tucibure. ilha samsulara be gemu baiburakū.  
 刀溝 出し 花 刻むのを どれも 要しない  
 起線鑿花全<sup>84</sup>不用 (四/十六 6b4-5)
- 16-13-10 bisin obuci sain.  
 平面 にすれば よい  
 平面兒<sup>85</sup>的好 (四/十六 6b5)
- 16-13-11 urunakū beye tuwame hatabu.  
 必ず 自身で 見て 浸せ  
 必須親自瞧着蘸鋼 (四/十六 6b5)
- 16-13-12 si aika faksi i cihai weilebuci.  
 君 もしも 匠 の 自由に 造らせたなら  
 你若是由着匠人去倣 (四/十六 6b5-7a1)
- 16-13-13 ce damu homhon i oilorgi miyamigan<sup>86</sup> yangse de. balai miyamišara be.  
 彼らただ 鞞 の 表面 飾り 形 に 妄りに 飾るのを  
 ulhire dabala.  
 知る だけだ  
 他們就只<sup>87</sup>懂<sup>88</sup>得鞞子的<sup>89</sup>裝修<sup>90</sup>胡作倣罷咧 (四/十六 7a1-2)
- 16-13-14 jeyen sendejerakū oci. uthai ilafimbi..  
 刃 欠けない ならば 即ち 捲れ上がる

<sup>82</sup> 兒：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>83</sup> 都没了：刊本は「没有」に作る。

<sup>84</sup> 全：刊本・辛卯本は「都」に作る。

<sup>85</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>86</sup> miyamigan：辛卯本は miyamiyagan に作る。

<sup>87</sup> 只：刊本はこの一字を欠く。

<sup>88</sup> 懂：辛卯本は「董」に作る。

<sup>89</sup> 的：刊本はこの一字を欠く。

<sup>90</sup> 修：刊本・辛卯本はこの後に「上」を有する。

- 刃子不是嘯<sup>91</sup>就是捲（四/十六 7a2）
- 16-14-1 mini emu hukšen ayan silmen.  
私の一羽の籠細鷹  
我的一個籠細雄（四/十六 7a3）
- 16-14-2 debsire sain.  
羽ばたくの 良い  
飛的快（四/十六 7a3）
- 16-14-3 jafara mergen.  
掴むの 巧い  
拿的巧（四/十六 7a3）
- 16-14-4 mušu be emke de emken.  
鶉 を 一つ に 一つ  
鶉鶉見一個是一個（四/十六 7a3-4）
- 16-14-5 don bade isiburakū.  
一飛びの 所に 到らせない  
不容到一翅<sup>92</sup>兒（四/十六 7a4）
- 16-14-6 lakdari oilori tabumbi.  
まんまと 空中で 掛ける  
倒提溜<sup>93</sup>懸梁子拿（四/十六 7a4）
- 16-14-7 namburelame turibure ba akū.  
捕まえようとして 逃す 所 ない  
從沒抓住又脫漏了的遭數（四/十六 7a4-5）
- 16-14-8 talude jeku i suku i dolo suksureme dosinaha de.  
万一 穀物 の 草むら の 中に 舞い降りて 入って行ったら  
偶爾打樁扎進<sup>94</sup>庄稼地里<sup>95</sup>（四/十六 7a5）
- 16-14-9 si damu honggon i kalar sere ici baihanaci.  
君 ただ 鈴 の からん というの に 応じて 探しに行けば  
你只順着鈴鐺<sup>96</sup>的聲兒找了去（四/十六 7a5-7b1）

<sup>91</sup> 嘯：刊本・辛卯本は「礮」に作る。

<sup>92</sup> 翅：刊本は「趨」に作る。

<sup>93</sup> 溜：辛卯本は「溜」に作る。

<sup>94</sup> 進：刊本は「在」に作る。

<sup>95</sup> 里：刊本は「裡去」に作る。

<sup>96</sup> 鐺：刊本は「當」に作る。



- 16-14-10 aifini šoforofi aliyahabi.  
とつくに 捕らえて 待っている  
早已抓住了等着呢 (四/十六 7b1)
- 16-14-11 tucike dari gūsin dehi gala waka oci.  
出る 度に 三十 四十 手 でない ならば  
每遭出去不着三<sup>97</sup>四十拳 (四/十六 7b1-2)
- 16-14-12 bi congkiburakū..  
私 啄ませない  
我不餐他 (四/十六 7b2)
- 16-15-1 šan cukcuhun beye gekdehun i giratu.  
耳 前向き 身体 瘦せ て 骨格大きい  
耳朶竹簽兒似<sup>98</sup>的乾巴と的個大骨膀子 (四/十六 7b3)
- 16-15-2 tuttu bime. julkun onco. takiya amba.  
そうであって 胸 広く 膝頭 大きい  
而且前胸子寬膊羅盖子大 (四/十六 7b3-4)
- 16-15-3 damu kargama majige bocihe.  
ただ 尻 少し 醜い  
但只屁股梁子聊醜些 (四/十六 7b4)
- 16-15-4 ere toktofi niyancangga dosobumbi.  
これ きっと 我慢強く 耐えられる  
這個必頗皮練長 (四/十六 7b4)
- 16-15-5 ai turgunde.  
何の 理由で  
是什麼緣故 (四/十六 7b4)
- 16-15-6 uttu yali jokson coron gocikabi..  
この様に 肉 少なく 腹 瘦せている  
這們臄欠<sup>99</sup>弔着耽呢 (四/十六 7b5)
- 16-16-1 ere morin jolgocome codoli.  
この 馬 はやって 猛り立つ  
這個<sup>100</sup>馬靈泛活動 (四/十六 8a1)

<sup>97</sup> 三：刊本はこの後に「十」を有する。

<sup>98</sup> 似：刊本は「是」に作る。

<sup>99</sup> 欠：刊本はこの後に「呢」を有する。

<sup>100</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

- 16-16-2 kiyab kib seme ildamu. hebengge bime buhi dahambi.  
 きび きび と 敏捷 従順 であって 膝 従う  
 行走伶俐風騷嘴熟而且隨人的膊羅<sup>101</sup>盖子 (四/十六 8a1-2)
- 16-16-3 yaluha de cihai neime gidambi.  
 乗ったら自由に開いて抑える  
 騎上了由着撥他壓他 (四/十六 8a2)
- 16-16-4 manaha biyade.  
 先 月に  
 上月裡 (四/十六 8a2)
- 16-16-5 booi urse gūnin isinahakū de.  
 家の人々 心 至らずに  
 家人們不小心 (四/十六 8a2-3)
- 16-16-6 mampin gulejefi ilmereke.  
 結び目 解けて 外れた  
 拴的扣兒脫落了溜了韁 (四/十六 8a3)
- 16-16-7 biyalame baihai tere bade arkan baha.  
 ひと月して 探し続け その所で ちょうど 得た  
 整找了一個<sup>102</sup>月在那個地方剛と的<sup>103</sup>得了 (四/十六 8a3)
- 16-16-8 hachiyame lasihidame gajire jakade.  
 急いで 連れ戻して 来た ので  
 急と的<sup>104</sup>擽奪着拿来的上頭 (四/十六 8a4)
- 16-16-9 yali wasika.  
 肉 落ちた  
 臄溜了 (四/十六 8a4)
- 16-16-10 oforo sukiyame šadara muru majige tuyembuhe bicibe.  
 鼻 空になり 疲れた 様子 少し 表した けれども  
 雖則低着头露些<sup>105</sup>乏樣兒 (四/十六 8a4-5)
- 16-16-11 ere morin daci yali nonggibure ja.  
 この 馬 元々 肉 増やすの 容易

<sup>101</sup> 羅：刊本は「羅」に作る。

<sup>102</sup> 個：刊本はこの後に「多」を有する。

<sup>103</sup> 剛と的：刊本は「剛剛兒」に作る。辛卯本は「剛剛兒的」に作る。

<sup>104</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>105</sup> 些：刊本は「出」に作る。

- 這個<sup>106</sup>馬起根兒<sup>107</sup>慣攬臍（四/十六 8a5）
- 16-16-12 manggai udu inenggi acabume ulebuhe.  
せいぜい 何 日か 合わせて 食べさせたら  
不過是調養幾天（四/十六 8a5-8b1）
- 16-16-13 yali uthai aitumbi..  
肉 すぐ 戻る  
臍就好了（四/十六 8b1）
- 16-17-1 ere šadame deribuhe.  
これ 疲れ 始めた  
這個乏上来了（四/十六 8b2）
- 16-17-2 tuwacina.  
見ればよい  
瞧罷咱（四/十六 8b2）
- 16-17-3 uju sesheteme darama šeteršeme.  
頭 振り 腰 曲げて  
腦袋布捧着腰灣着（四/十六 8b2）
- 16-17-4 emdubei hirhūki sembi.  
ひたすら 擦りつけ たがる  
只是要蹭癢と（四/十六 8b2-3）
- 16-17-5 hūdun jojin be sudami.  
早く 馬銜 を 外せ  
快把嚼子褪了（四/十六 8b3）
- 16-17-6 enggemu gaisu.  
鞍 取れ  
摘了鞍子（四/十六 8b3）
- 16-17-7 fuhešeme beye isihikini.  
寝転んで 身体 振るえばよい  
教他打個滾兒抖と毛（四/十六 8b3）
- 16-17-8 orho huweki<sup>108</sup> bade udu inenggi ilerefi suwangkiyabume ergembu.  
草 肥沃な 所で 何 日か 繫いで 草を食ませ 休ませよ  
拿到好草的地方拴上個繩子放幾天青將養とと（四/十六 8b4）

<sup>106</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>107</sup> 兒：辛抱本は「里」に作る。刊本はこの一字を欠く。

<sup>108</sup> huweki：辛卯本は hoki に作る。

- 16-17-9 ume waliyame sisame oihorilara<sup>109</sup>.  
 決して捨てて 失い 怠るな  
 別摺搭着不當<sup>110</sup>事 (四/十六 8b4-5)
- 16-17-10 sain morin gasihyaburahū..  
 良い 馬 損なわれないか  
 好馬看仔細遭邇了啊<sup>111</sup> (四/十六 8b5)
- 16-18-1 teni ucu tucike bici.  
 やっと 門 出て いたら  
 纔一出門 (四/十六 9a1)
- 16-18-2 i juleri amala dorime sebkeme.  
 それ 前に 後に 跳ねて 飛びかかり  
 他就前撲後跳 (四/十六 9a1)
- 16-18-3 uju uncehen sihešeme sarbašambi.  
 頭 尾 おもねって 振り回す  
 搖頭擺尾的 (四/十六 9a1-2)
- 16-18-4 geli giyab giyab seme negeleme ilifi. sini dusihi be šoforšombi<sup>112</sup>.  
 また わん わん と 後脚で支え 立ち 君の 前襟 を やたらと掴む  
 又站起来把你的<sup>113</sup>前襟子抓撓着汪兒とと的叫 (四/十六 9a2-3)
- 16-18-5 terei emu hacin i miyehudehe arbun be tuwaci.  
 それの 一 種 の 喜んだ 姿 を 見ると  
 看他的那<sup>114</sup>宗跳着玩の樣兒 (四/十六 9a3)
- 16-18-6 aimaka sebken acafi. sini baru hajilame habcihiyadara adali..  
 まるで やっと 会って 君に 向かい 親しく 歓待する 様だ  
 倒像乍見了向你親香熱呼也<sup>115</sup>是的 (四/十六 9a3-4)
- 16-19-1 majige hiya silmen a.  
 小さい 柏雄 鷹 よ  
 鶯兒啊 (四/十六 9a5)

<sup>109</sup> oihorilara : 刊本は oihorilame に作る。

<sup>110</sup> 當 : 辛卯本は「擋」に作る。

<sup>111</sup> 啊 : 刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>112</sup> šoforšombi : 刊本は šofošombi に作る。

<sup>113</sup> 你的 : 刊本はこの二字を欠く。

<sup>114</sup> 的那 : 刊本は「的」を欠く。辛卯本はこの後に「一」を有する。

<sup>115</sup> 也 : 刊本はこの一字を欠く。

- 16-19-2 *sini be tuheke.*  
君の 餌 落ちた  
你扣了食了 (四/十六 9a5)
- 16-19-3 *haihan inu waliyaha.*  
羽毛 も 吐いた  
蔴也出了 (四/十六 9a5)
- 16-19-4 *erin jing ohobi.*  
時間 ちょうど になっている  
正是時候了 (四/十六 9a5-9b1)
- 16-19-5 *ere mari simbe alime tucike manggi.*  
今 回 君を 架けて 出た 後  
這一回架出你去 (四/十六 9b1)
- 16-19-6 *hūwangdana ocibe.*  
黃鸝 でもよい  
黃鸝也罷 (四/十六 9b1)
- 16-19-7 *bonjiha<sup>116</sup> ocibe.*  
虎頭雀 でもよい  
虎頭兒也罷 (四/十六 9b1-2)
- 16-19-8 *urunakū juwan udu jafaci.*  
必ず 十 幾つ 取ったら  
必要拿十幾個 (四/十六 9b2)
- 16-19-9 *bi teni simbe congkibumbi.*  
私 やっと 君に 餌を 与える  
我纔餐你呢 (四/十六 9b2)
- 16-19-10 *aika sunta be delebume muterakū oci.*  
もしも 網袋 を 支えること できなく なれば  
若<sup>117</sup>不撐起雀兜子来 (四/十六 9b2-3)
- 16-19-11 *taka simbe ergemburakū..*  
暫し 君を 休ませない  
且不教你歇着 (四/十六 9b3)
- 16-20-1 *muse banjire boo.*  
我々 暮す 家

---

<sup>116</sup> *bonjiha* : 刊本は *bunjiha* に作る。

<sup>117</sup> 若 : 刊本は「要」に作る。

- 咱們過日子的人家兒<sup>118</sup> (四/十六 9b4)
- 16-20-2 niyaman gucu ta seme feliyembi.  
親類 友人 常 に 往来する  
親朋常来往 (四/十六 9b4)
- 16-20-3 ai baita emu langtanaha yolo be dukai fejile hūwaitambi.  
何の 事 一匹 頭の大きい チベット犬 を 門の 下に 繫ぐ  
作什麼把一個大頭獐獅<sup>119</sup>狗拴在門底下 (四/十六 9b4-5)
- 16-20-4 bi bokson i jakade isiname jaka.  
私 門檻 の 前に 到って すぐ  
我将到門檻子根前 (四/十六 9b5)
- 16-20-5 tere indahūn uthai kur seme kerkimbi.  
その 犬 すぐ ぐるると 唸り  
那個<sup>120</sup>狗就嗚嚕とと<sup>121</sup>哼と (四/十六 9b5-10a1)
- 16-20-6 teni dosiki sere de.  
やっ と 入ろう とする と  
纔要進去 (四/十六 10a1)
- 16-20-7 tere waburu.  
その 死に 損ない  
那個殺材<sup>122</sup> (四/十六 10a1)
- 16-20-8 emgeri kūwang sefi.  
一度 わん と 言っ て  
汪的一聲 (四/十六 10a2)
- 16-20-9 sebkeme jihe.  
飛びかかって 来た  
撲了上来 (四/十六 10a2)
- 16-20-10 tede bi ara sefi.  
そこで 私 ああ と 言っ て  
那上頭我噯啲的<sup>123</sup>一聲 (四/十六 10a2)

<sup>118</sup> 兒：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>119</sup> 獅：辛卯本はこの後に「子」を有する。

<sup>120</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>121</sup> 嗚嚕とと：刊本・辛卯本は「嗚嚕嗚嚕的」に作る。

<sup>122</sup> 材：辛卯本は「才」に作る。

<sup>123</sup> 的：刊本は「了」に作る。

- 16-20-11 ekšeme beye forgošo. bokson be feku uthai tucike.  
 急いで 身体 巡らし 門檻 を 飛び越え 即ち 出た  
 一回<sup>124</sup>身就跳出<sup>125</sup>門檻子<sup>126</sup>来了 (四/十六 10a2-3)
- 16-20-12 jabšan de sele futa lakcahakū ofi.  
 幸いに 鉄 鎖 切れなかった ので  
 幸兒<sup>127</sup>鉄鎖子没斷 (四/十六 10a3-4)
- 16-20-13 mimbe amcahakū.  
 私に 追いつかなかった  
 没穀着我 (四/十六 10a4)
- 16-20-14 tereci bi gelehei yala fayangga gemu kaliha.  
 それから 私 恐れて 本当に 魂 みな 飛んだ  
 從那們我嚇的<sup>128</sup>實在<sup>129</sup>魂都冒了 (四/十六 10a4-5)
- 16-20-15 ai.  
 ああ  
 噯 (四/十六 10a5)
- 16-20-16 we ya ergen de haji akū ni..  
 どんな 人命 に 愛着 ない か  
 誰不惜命呢 (四/十六 10a5)
- 16-21-1 kooli de musei niyalma.  
 しきたり で 我々の 人  
 例上咱們的人 (四/十六 10b1)
- 16-21-2 yaya beyebe tuwabure.  
 凡そ 自身を 引見する  
 凡引見 (四/十六 10b1-2)
- 16-21-3 eici hesei hūlame.  
 或いは 旨で 呼び  
 或召見 (四/十六 10b2-3)

---

<sup>124</sup> 一回：刊本は「忙轉」に作る。辛卯本は「忙回」に作る。

<sup>125</sup> 就跳出：刊本・辛卯本は「一跳」に作る。

<sup>126</sup> 子：刊本・辛卯本はこの後に「就出」を有する。

<sup>127</sup> 兒：刊本・辛卯本は「而」に作る。

<sup>128</sup> 我嚇的：刊本は「嚇的我」に作る。

<sup>129</sup> 在：刊本は「實」に作る。

- 16-21-4 dosimbufi wesimbure jabure.  
 入らせて 上奏し 答える  
 奏對 (四/十六 10b3)
- 16-21-5 jai eiten siden i bade.  
 また 一切の 公 の 場で  
 再一切公所 (四/十六 10b3)
- 16-21-6 gemu nikaraci ojarahū.  
 みな 漢語を話すこと できない  
 都不可說漢話 (四/十六 10b3-4)
- 16-21-7 tuttu ofi. manju gisun sere hacin.  
 そう なので 満洲 語 話す 類  
 所以滿洲話一項 (四/十六 10b4)
- 16-21-8 manjusai beyede uthai farhūn de. tolon tuwa be tukiyere.  
 満洲人達 自身に 即ち 暗闇 で 松明 火 を 挙げ  
 在満洲人就像夜行以炬 (四/十六 10b4-5)
- 16-21-9 booci tucire de. duka be yabure adali.  
 家から 出るのに 門 を 歩く 様だ  
 出室由戸似的 (四/十六 10b5-11a1)
- 16-21-10 tacirakūngge.  
 学ばないこと  
 那不肯學的 (四/十六 11a1)
- 16-21-11 uthai manju i fulehe be waliyaha niyalma.  
 即ち 満洲 の 根本 を 捨てた 人  
 就是廢棄了満洲根本的人 (四/十六 11a1)
- 16-21-12 tede sakdasa akafi pei sere.  
 そこで 老人達 傷つき ペっ と言い  
 那上頭不但長者傷心而唾之 (四/十六 11a2)
- 16-21-13 geren de fisa jorime jubešebure teile akū.  
 人々に 背中 指し 誹謗される だけ でなく  
 衆人指背而誹謗之 (四/十六 11a2)
- 16-21-14 yargiyan i ayan suwayan ubu sibiya gūtubure be dahame.  
 本当 に 貴く 莊重な 身 分 辱める の だから  
 實在有<sup>130</sup>玷堂皇<sup>131</sup>體統 (四/十六 11a3)

---

<sup>130</sup> 有：刊本はこの一字を欠く。



- 16-21-15 musei niyalma.  
我々の 人  
咱們的人 (四/十六 11a3)
- 16-21-16 ainu ere baita be kiceme<sup>132</sup> yaburakū ni..  
なぜ この 事 を 励んで 行わない か  
為甚<sup>133</sup>麼不勉行此事呢 (四/十六 11a3-4)
- 16-22-1 gisun hese serengge.  
言 辞 というもの  
言語呀 (四/十六 11a5)
- 16-22-2 niyalmai<sup>134</sup> hūsun.  
人の 力  
是人的個<sup>135</sup>工夫 (四/十六 11a5)
- 16-22-3 tere manjurara mergen urse de.  
あの 満洲語を話すの 巧い 人々 に  
那個<sup>136</sup>満洲話精的人 (四/十六 11a5)
- 16-22-4 umai ferguwecuke arga akū.  
決して 新奇な 方法 ない  
並没<sup>137</sup>妙法 (四/十六 11b1)
- 16-22-5 gemu yaya onggolo fe gisun i songkoi hing seme urebuhei mutebuhengge.  
みな 全て 以前の 古い 言葉 に 基づき 一心 に 練習して できたもの  
無非是老早的照着老話專<sup>138</sup>心練<sup>139</sup>習出来的 (四/十六 11b1-2)
- 16-22-6 aika inenggidari nonggibume erindari nemebume.  
もしも 日ごとに 増やし 時間ごとに 加え  
若是<sup>140</sup>不日積時累 (四/十六 11b2)

---

<sup>131</sup> 堂皇：刊本は「辱貴重」に作る。

<sup>132</sup> kiceme：刊本は hacihyašame に作る。

<sup>133</sup> 甚：刊本は「什」に作る。

<sup>134</sup> niyalmai：辛卯本は niyalma に作る。

<sup>135</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>136</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>137</sup> 没：刊本は「無」に作る。

<sup>138</sup> 專：辛卯本は「耑」に作る。

<sup>139</sup> 練：五卷本は「諫」に作る。

<sup>140</sup> 是：刊本はこの一字を欠く。

- 16-22-7 *facihiyašame kicerakū oci.*  
 勤勉に 務めない ならば  
 巴結着用工去<sup>141</sup> (四/十六 11b3)
- 16-22-8 *baita teisulebuhede.*  
 事 出逢ったら  
 一遇着<sup>142</sup>了事 (四/十六 11b3)
- 16-22-9 *toktofi deng seme ilibure be dahame.*  
 きっとうっ と 停まる の だから  
 必要躑住 (四/十六 11b3-4)
- 16-22-10 *ini cisui anggai ici eyeme banjinara be hono ereci ojoro aibi.*  
 自然と 口に 応じて 流れて 生まれるの を なお 望むこと できるの どこだ  
 怎麼還指望的<sup>143</sup>自然順口盪熟<sup>144</sup>呢 (四/十六 11b4-5)
- 16-22-11 *gisun i cala boobai akū.*  
 言葉 の あちらに 宝物 ない  
 話上<sup>145</sup>沒什麼訣竅 (四/十六 11b5)
- 16-22-12 *damu sakdasai<sup>146</sup> anggai hošoi<sup>147</sup> ergi tutabuha.*  
 ただ 老人達の 口の 角の 辺りに 留めた  
 只把老家兒口角遺留下的 (四/十六 11b5-12a1)
- 16-22-13 *turgun forgošobume tacibure fe gisun be tuwakiyame.*  
 原因 轉換し 教える 古い 話 を 守り  
 調度教訓的老話謹守着<sup>148</sup> (四/十六 12a1)
- 16-22-14 *fuhašame sibkire de wajihabi.*  
 考えて 究めるの に 尽きている  
 反覆<sup>149</sup>揣摩了去就是了 (四/十六 12a2)

---

<sup>141</sup> 去：刊本は「夫」に作る。

<sup>142</sup> 一遇着：刊本は「遇」に作る。

<sup>143</sup> 的：辛卯本は「得」に作る。刊本はこの一字を欠く。

<sup>144</sup> 口盪熟：刊本は「嘴流」に作る。

<sup>145</sup> 上：刊本・辛卯本はこの後に「頭」を有する。

<sup>146</sup> *sakdasai*：刊本は *sakda urse* に作る。

<sup>147</sup> *hošoi*：辛卯本は *hošo* に作る。

<sup>148</sup> 着：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>149</sup> 反覆：刊本はこの二字を欠く。

16-22-15 tacin i ejebun de henduhengge.

学記に言ったこと  
學記上說的（四/十六 12a2）

16-22-16 udu sain booha bihe seme.

たとえ 良い料理 あった としても  
雖有嘉肴<sup>150</sup>（四/十六 12a2-3）

16-22-17 jeterakū oci.

食べない ならば  
弗食（四/十六 12a3）

16-22-18 terei amtan be sarkū sehebi.

その 味 を 知らない と言っている  
不知其旨也（四/十六 12a3）

16-22-19 cibtui gūninja.

何度も 考えよ  
詳細思索罷（四/十六 12a3-4）

16-22-20 ume oihorilara..

決して 軽んじるな  
勿忽畧了<sup>151</sup>啊（四/十六 12a4）<sup>152</sup>  
aisilara da tuhun sarkiyaha.

（待続）

---

<sup>150</sup> 肴：辛卯本は「餽」に作る。

<sup>151</sup> 了：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>152</sup> 五卷本はこの後に aisilara da tuhun sarkiyaha.（副将 tuhun が清書した）とある。